

主な活動の紹介

今年度より校舎一体型小中連携校の新校舎となり、今まで実施してきた学校支援活動に加え、学校の敷地に地域の方が新しい花壇を造ったり、グラウンドを整備したり、引越のお手伝いや小中合同の運動会・文化祭などの学校行事支援をしたり、新たな活動が増えました。従来の学校支援活動である読み聞かせ、書写・家庭科・図工等の指導、校外学習引率支援、クラブ活動支援や備品等の営繕、図書整理や補修、登下校時の交通安全指導なども、今年度も地域ぐるみで行っています。また、放課後子ども教室の「厚陽あそび隊」は、隔週水曜日の放課後に様々な活動に取り組んでいます。家庭教育支援チームによる「子育て講座」、厚陽保育園への行事支援や砂場作り等の環境整備、公民館での中学生と地域が協働しての花づくりなど、様々な活動を通して地域ぐるみで子どもたちを育てています。



新しい花壇づくり



保育園での保・小合同餅つき



中学生とペアでの種まき



琴の演奏（厚陽あそび隊）



俳句教室（厚陽あそび隊）



子育て講座（家庭教育支援チーム）

成果と課題

- ・校舎一体型小中連携校となり、運動会や文化祭を合同で行うことで、異年齢の児童生徒の縦のつながりと同時に、地域の方々との交流による横のつながりを更に深めることができました。
- ・新校舎完成までに、地域の方々も協議に参加したり引越を手伝ったり、環境整備に積極的に取り組んだり、「地域の中の学校」という意識が一層強まりました。
- ・小・中交流授業や共同使用場所の割り振り、地域の方の校舎共用など、時間割や場所の調整を綿密に計画することが求められます。



児童・生徒・地域合同の演技

今後の取組

新校舎の地域交流スペース（西校舎）で、地域の方々が気軽に生涯学習をし、その際に児童生徒との交流をもつなど、地域の方と児童生徒とのかかわりをもっと密になるような公民館的な活動を取り入れて、学校づくりと地域づくりを進めていきたいと考えています。PTAの協力も、小中連携の学習や行事が増えることから、より積極的になっていくことと思います。また、新校舎のすぐそばにある厚陽保育園との更なるつながりを深め、「地域協育ネット」として子どもたちを支援する体制を整えていきます。